

平成29年度五霞町役場温室効果ガス削減計画実施結果

町では、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスを削減するため、主な公共施設の電気使用量及び公用車燃料使用量について、排出量の抑制に取り組んでいます。

平成29年度の電気使用量は目標値の約540,000kwhに対して、実施結果は約445,000kwhと約18%削減することができました。(表1)

また、公用車燃料使用量についても、目標値の約26,300ℓに対して、約19,300ℓの結果となりました。(表2) 電気使用量を二酸化炭素排出量に換算すると約72,200kgが、公用車燃料は約18,450kgが、それぞれ削減することができた計算になります。

一般家庭から排出される二酸化炭素排出量は、年間で約5,900kgと言われていますので、約15世帯分が削減されました。

(単位：kwh)

施設名	基準年の 電気使用量	平成 29 年度		比較増減 (対基準年)	削減率 (%) (対基準年)
		目標値	実施結果		
五霞町役場本庁舎	236,821	222,371	176,687	△60,134	△25.3
五霞ふれあいセンター	28,617	26,867	30,905	2,288	8.0
ごか西児童館	13,833	12,983	10,891	△2,942	△21.3
ごか南児童館	12,807	12,057	8,669	△4,138	△32.3
保健センター	67,764	63,664	52,595	△15,169	△22.4
中央公民館	118,423	111,223	90,287	△28,136	△23.8
B&G 海洋センター	96,492	90,592	74,617	△21,875	△22.7
合計	574,757	539,757	444,651	△130,106	△22.6

(単位：ℓ)

施設名	基準年の 公用車燃料使用量	平成 29 年度		比較増減 (対基準年)	削減率 (%) (対基準年)
		目標値	実施結果		
公用車燃料使用量	27,251	26,301	19,304	△ 7,947	△ 29.2

※算定方法

〔電気量〕 排出量 (kg-CO2) = 電気使用量 (kwh) × 排出係数 (0.555)

〔公用車燃料〕 排出量 (kg-CO2) = (燃料使用量 (リットル) × 単位発熱量 (34.6)) × 炭素排出係数 (0.0183) × 44/12



ハクレンは、中国大陸原産のコイ科の魚で、仲間のコクレンとともに「レンギョ」と称され、日本では利根川、霞ヶ浦水系に多く見られます。毎年、産卵期（6～7月前後）の大雨による増水時には、1m近いハクレンの群れの豪快なジャンプを見ることが出来ます。

○町内では川妻地先の利根川で見ることが出来ます。



ハクレン



写真提供：小林一郎氏

○昨年は6月から7月にかけて川妻地先の利根川でジャンプを見ることが出来ました。

○今年は、6月に梅雨が明け、ハクレンがジャンプしやすいといわれる水位まで上がっていないため、大ジャンプは見られていませんが、今後、水位が上がってくれば、例年のような大ジャンプを見ることが出来るかもしれません。

○ハクレンの情報は、随時、町公式ホームページで発信していますので、ぜひ、ご覧ください。



〔町公式ホームページ〕

※通信料は個人負担となります。

○お問い合わせ

総務課 秘書広報G
☎(84)1111 (内線214)

五霞町の立ち寄りスポットを紹介します